

(別添7)

事業所名 グループホーム望喜家

## 2 目標達成計画

作成日: 平成30年 3月16日作成

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民と触れ合う機会を多く持ちたいが、職員不足のため外部にこちらから出向くことが非常に困難である。地域に呼ばれることも行けることも少なくなっている。	ボランティアスタッフを確保し、地域との交流を再び図ることで地域にとって望喜家があつてよかったと思える施設へとなる。	①スタッフが働きやすい環境を整える。パートの短時間労働。60歳以上の雇用促進 ②地域の多種多様のボランティア団体や老人会、民生委員会の方々との交流を図る ③オレンジリングの講習を復活したり、イベントに参加することで、望喜家を多くの人たちに知っていただき望喜家により多く足を運んでいただく	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。